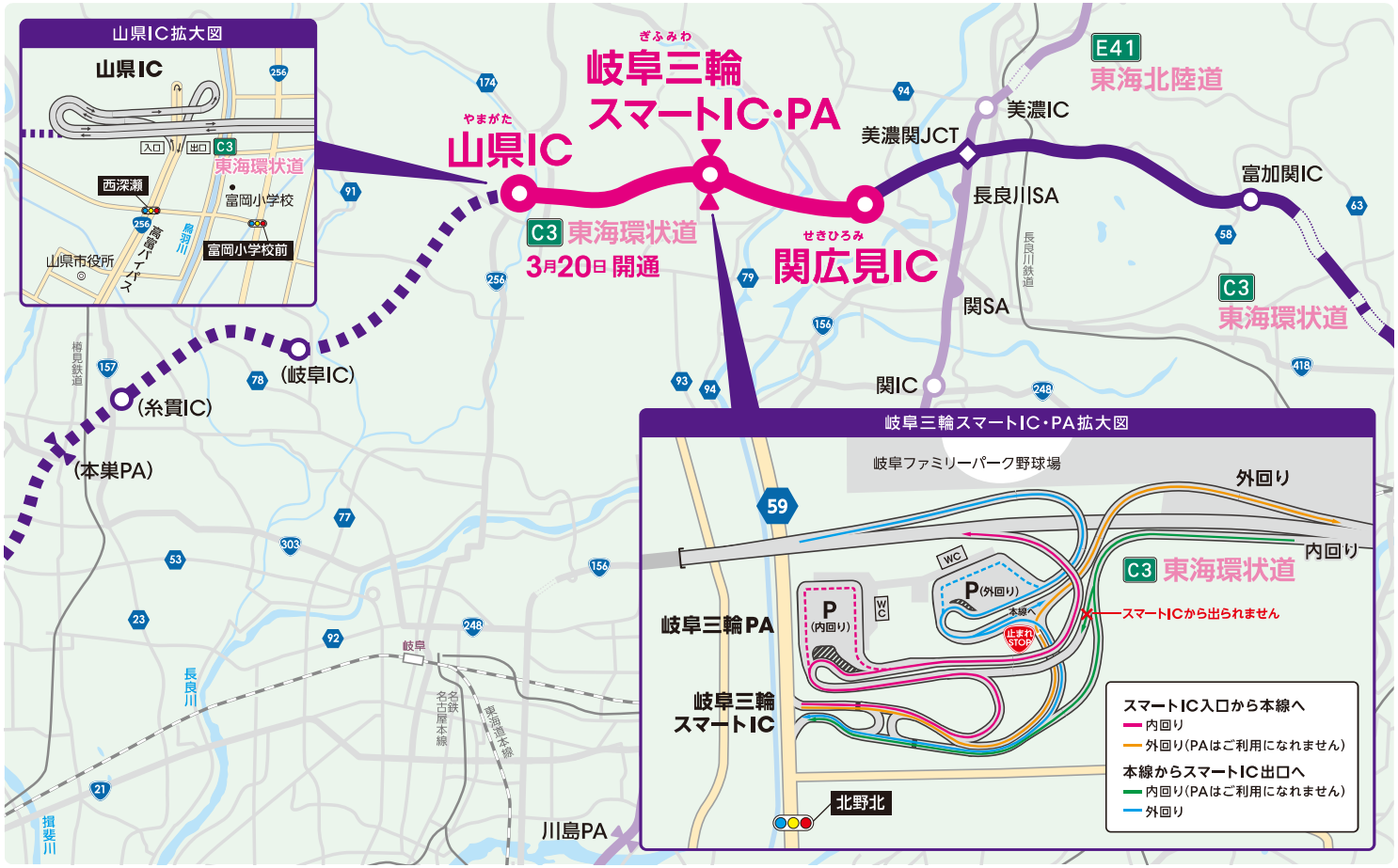
C3 東海環状道 関広見IC～山県IC 2020年3月20日(金・祝)15時 開通



※( )書きのICおよび施設名は仮称です。

■対向車線への飛び出し防止対策

暫定二車線の安全対策として、可能な箇所にワイヤロープを設置しています。ラバーポールで上下線を区分する構造と比べ、対向車線への飛び出しを防ぐ効果があり、安全性の向上に寄与します。

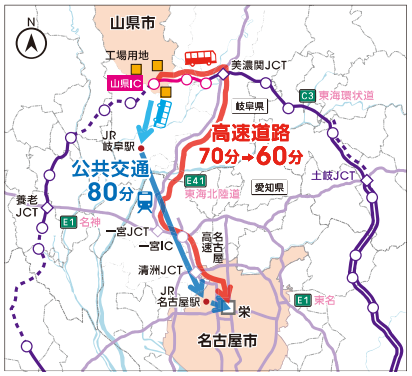
■ダブル連結トラックの環境整備

岐阜三輪PAには、ダブル連結トラック(長さ21mを超えるフルトレーラー)優先の駐車スペースを整備。深刻なドライバー不足が進行するトラック輸送の省人化や環境負担低減に寄与します。

■所要時間の短縮

今回の開通により、山県市の利便性が向上。例えば名古屋市への移動は、公共交通を利用したルートと比較し約20分、高速道路を利用したルートは約10分の所要時間の短縮が見込まれます。

●山県市から名古屋市(栄)までの所要時間



→→ :公共交通を利用 開通前
→ :高速道路を利用 開通後

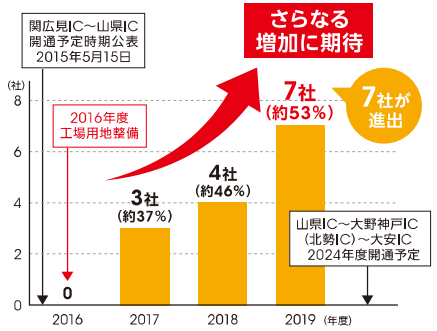
出典:所要時間/平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査
※公共交通機関の所要時間は、乗換時間を含む
※東海環状道の未開通区間は設計速度70km/hで算出(国土交通省試算)

■:工場用地(2015年以降新たに造成)

■製造業の活性化

当区間の開通予定時期公表後、山県市に新たに3箇所の工場用地(上段地図内■)が造成され、7社の企業立地が決定しました。さらなる企業立地の促進が期待されます。

●山県市工場用地の契約社数の推移



■:新規契約企業

出典:山県市提供資料(2019年12月)
※( )は全工場用地 約107,900m²に対する割合